

「犬の毛で汚れる」バス運転手 盲導犬連れの女性に発言（岡山市）

2010年7月2日

岡山市内の路線バスの運転手が、盲導犬を連れた視覚障がい者の女性に対し、犬連れでの乗車をいやがるような発言を繰り返した疑いがあることが1日、わかった。女性からの相談を受けた関西盲導犬協会（京都府亀岡市）がバス会社に改善を申し入れ、その後はなくなったという。

同協会によると、視覚障がい者は岡山市在住の40代で、4年前から盲導犬を連れて生活。今年2月、通勤で乗ったバスの運転手が「犬の毛で汚れるから掃除が大変」と話すのを車内で聞いた。それ以前にも同様の発言を耳にしたため、同協会に相談。協会の要請を受けた岡山県バス協会が同月、加盟会社に適切な対応を求めた。

ところが5月、女性が同じ運転手のバスに乗り合わせた際、「乗せるのは嫌だ」という趣旨の発言が聞こえた、という。女性は降車時、運転手に名前を聞いたが、教えてもらえなかった。再度の相談を受けた協会から改善を求められたバス会社は、女性に「不快な思いをさせ、申し訳ない」と謝罪した。

ただバス会社によると、指摘を受けた50代の運転手は発言を否定。運転手の頭上に設置された車内を録画するビデオにも、舌打ちのような音はあるが、発言は記録されていなかった。同社は「日頃からの社内の指導をより徹底したい」としている。

身体障がい者補助犬法で、公共交通事業者は盲導犬の同伴を拒んではならない。盲導犬協会は「最近では理解が深まり、乗車拒否や今回のような対応はほとんど聞かない。他の通勤客と同じように、気持ちよく乗車できるよう対応してほしい」と話している。

障がい者と共に暮らす社会

～私たちにできること～



小川友梨 笠井嘉奈 片山朋子
金田芽衣 萱谷綾佳 上久保麻衣
神崎紀人 喜多舞 駒田薫

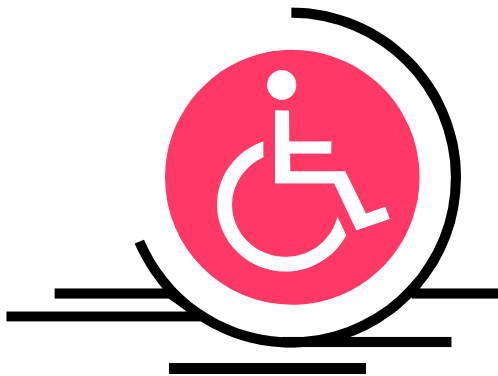
* 研究目的 *

- 障がい者としての体験を通して、障がい者の世界観を知る。
- 障がい者がより充実した生活を送るには、どう対応すべきかを知る。

障がい者の定義

「障害者」とは、身体障害、知的障害又は精神障害あるために長期にわたり日常生活又は社会生活に相当な制限を受けるもの。

障害者基本法



障がいの種類

- 身体障がい者—肢体不自由者、視覚障がい者
 - 聴覚障がい、重複障がい
- 内部障がい
- 知的障がい
- 精神障がい
- 発達障がい—自閉症、注意欠陥、学習障がい
- 高次脳機能障がい

視覚障がい者



視覚障がい者

移動障がい

一人での外出への怖さ
公共交通機関の利用不便



歩行訓練
→杖をを持ったの外出
ガイドヘルパー

情報障がい

本・新聞が読めない
手紙が書けない

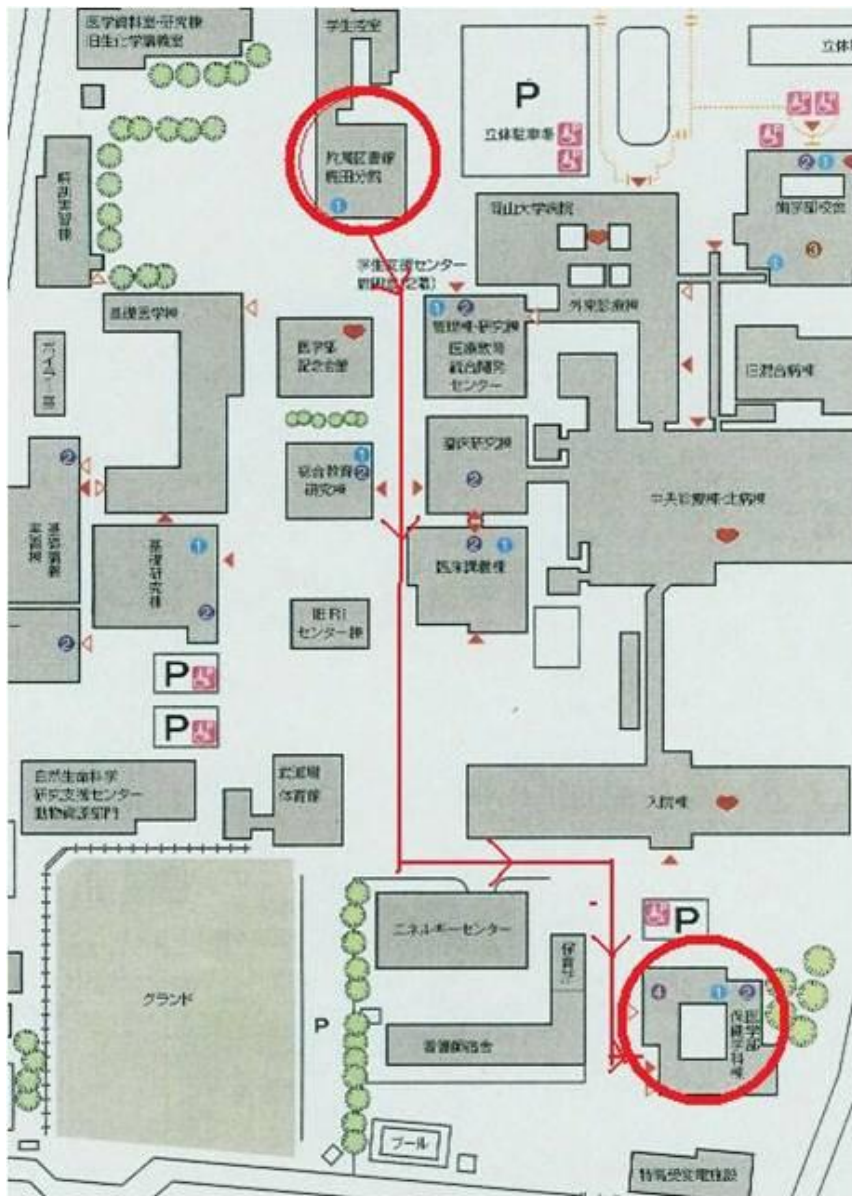


音声読書機・拡大読書機
点訳・音訳

視覚障がい者体験 ～どのようなところで苦労するか～

- 階段の上り下りは？
- エレベーターは一人で乗れるのか？
- 補助の仕方は？
- 段差がどのように影響するのか？

鹿田キャンパス 保健学科棟



図書館



保健学科棟



301

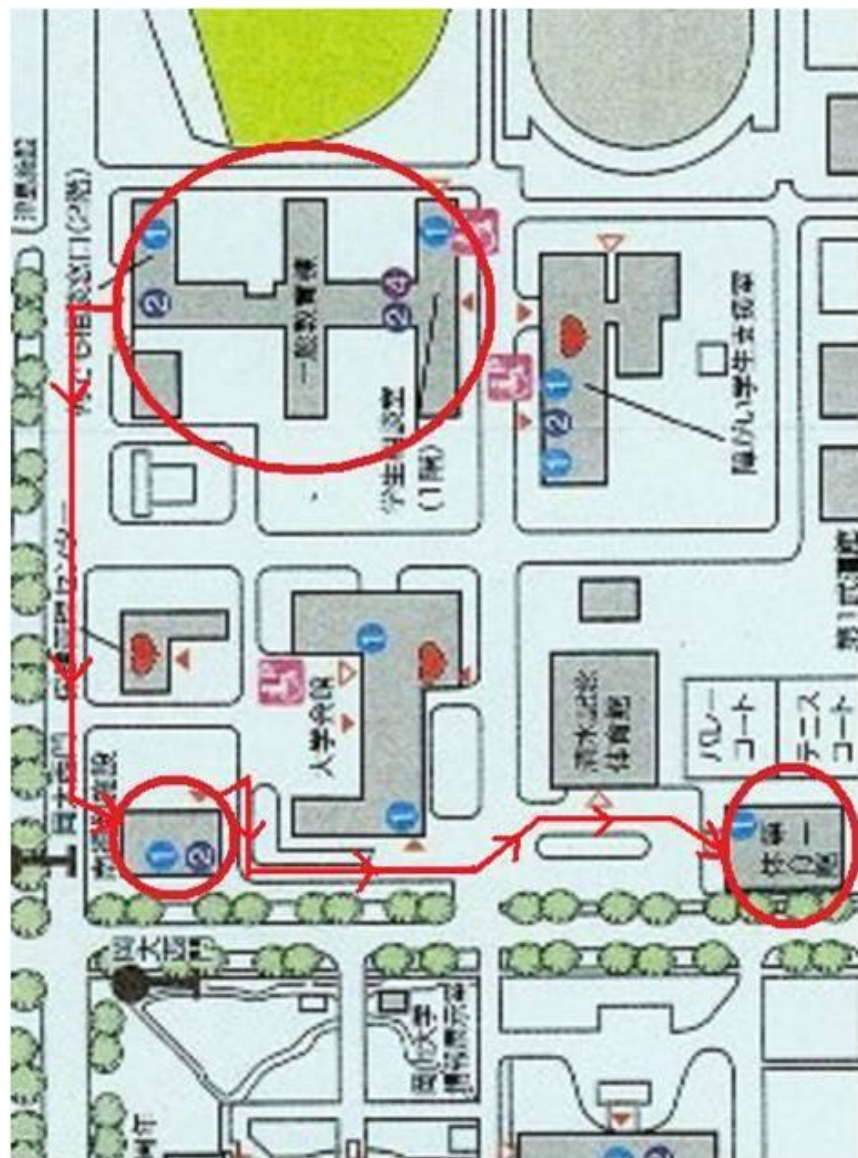


2階



保健学科棟入り口

津島キャンパス 一般教育棟



A棟入り口



B12



ピーチユニオン



体育館

階段を上るとき...



- 階段の始まりがわからない



- 後何段かわからない

階段を下りるとき



- 降りるときのほうが怖い
- 階段の始まりがわからない



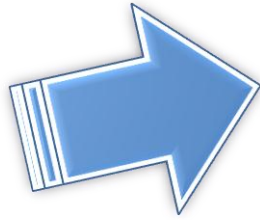
何気ない段差



何気ない段差も恐怖への種



エレベーターのボタン



津島キャンパスのボタンは親切

視覚障がい者の誘導方法

- 誘導の基本姿勢

誘導者は視覚障がい者の半歩前に立ち、肘の上を握ってもらう。



2. 階段の昇り降り

階段に対して直角に近づき、「昇り(降り)の階段です」と一声かけてから、誘導者はまず一段昇りいったん止まる。

後5段です。



・歩行時

1. 段差や坂道

「段差があります」と声をかけてスピードを緩めて歩幅を調整させる。



段差があります！

3、道案内

左、右、前、後、方角等を使う。



4、環境の変化

環境の変化がある時には、どのような変化があるのか説明する。



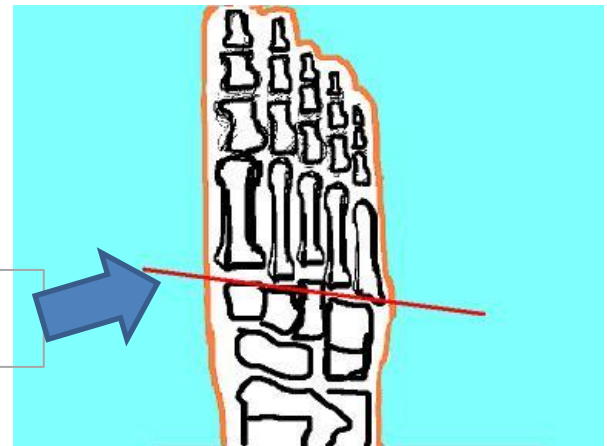
肢体不自由者



肢体不自由の定義

1. 片腕、片足又は体幹の機能の著しい障がいで、永続するもの。
2. 片腕の親指の関節以上がないもの。
又は、人差し指を含めて片手の2指以上のそれぞれ第一関節以上がないもの。
3. 片足のリスフラン関節以上がないもの。

リスフラン関節



4. 両手のすべての指がないもの。
 5. 片手の親指の機能の著しい障がい、
又は、人差し指を含めて
片手の3指以上の機能の著しい障がいで、
永続するもの。
- * その他に、その程度が1～5以上の
障がいであると認められるものも含まれる。

下肢不自由とは

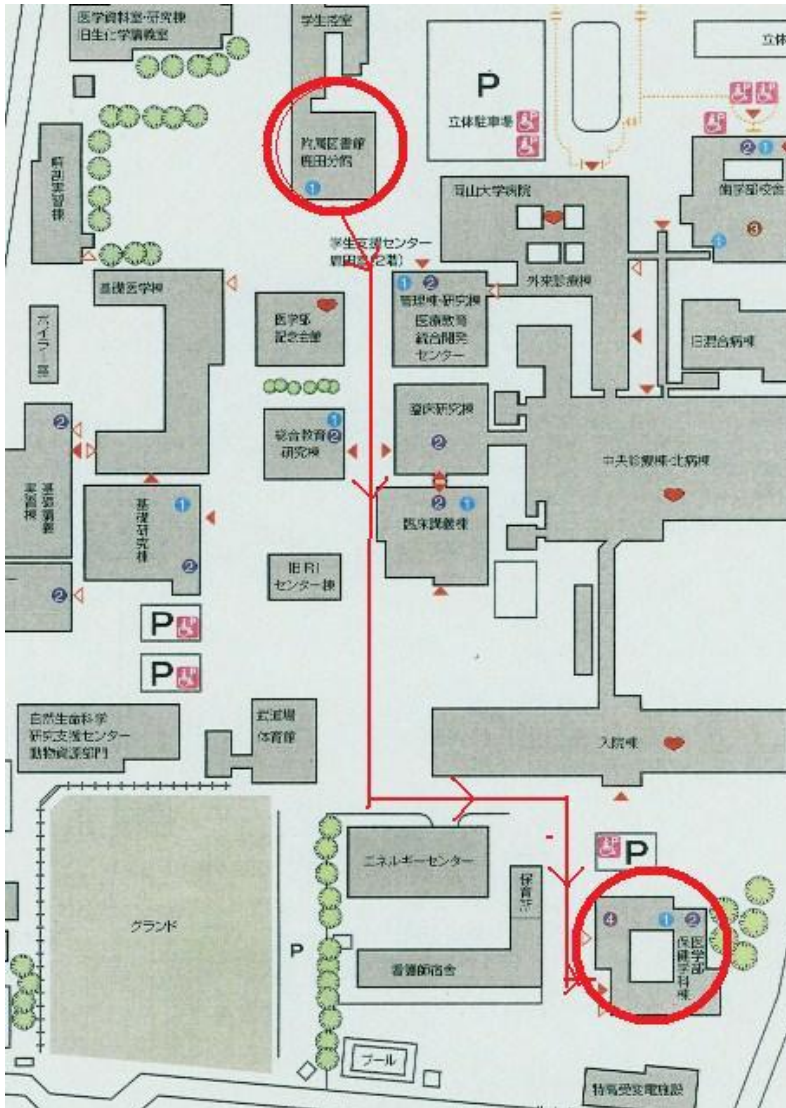
- 片足の機能障がい
 - 股関節
 - 膝関節
 - 足関節
 - 足指
 - 下肢の短縮
 - 下肢の切断
- の機能障がい

車椅子体験

～どのようなところで苦勞するか～

- 車椅子での移動は？
- スロープを自力で上ることができるのか？
- 階段を上るには？
- 手動の引き戸やスライド式のドアを自力で開けられるか？
- 利用しやすいトイレは？
- エレベーターの利用は？
- 横断歩道を渡ることが出来るのか？

鹿田キャンパス内の体験場所



- 図書館のスロープ
- 保健学科棟の
玄関にある階段
- 保健学科棟内の
教室の扉とトイレ

津島キャンパス内の調査場所



- 一般教育棟の教室のスライド式のドア
- 一般教育棟内とピーチユニオンのエレベーター
- ピーチユニオン内のトイレ
- ピーチユニオンから体育館側への横断歩道
- 岡大筋の横断歩道

車椅子での移動は？



傾斜では腕の力が必要



自転車歩道にはみ出している



スロープを自力で上れるか？



← 腕の力が必要

下りるときはゆっくりと →



階段を上るには？



4人でしっかり支える

ゆっくり上げる



扉を自力で開けられるか？



押し引きが大変

スムーズに
開けられる

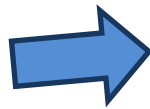


どのようなトイレがよいか？



動きやすいように
広々している

保健学科棟内の
洗面台

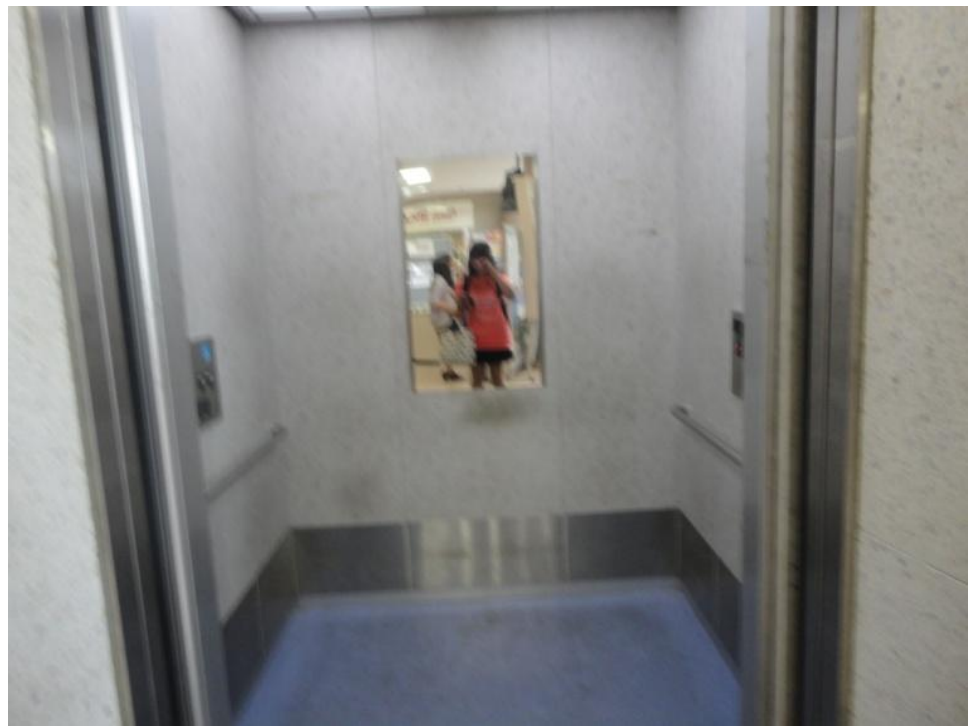


エレベーターの利用



入口が狭いと
通りにくい

鏡の位置が高い →

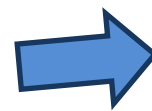


横断歩道を渡れるか？

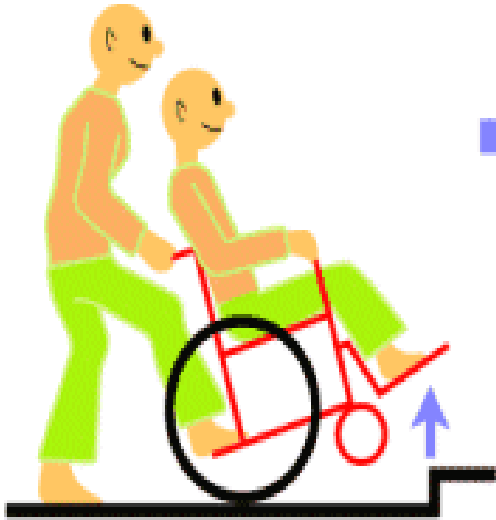


押しボタン付近が
傾斜になっていた

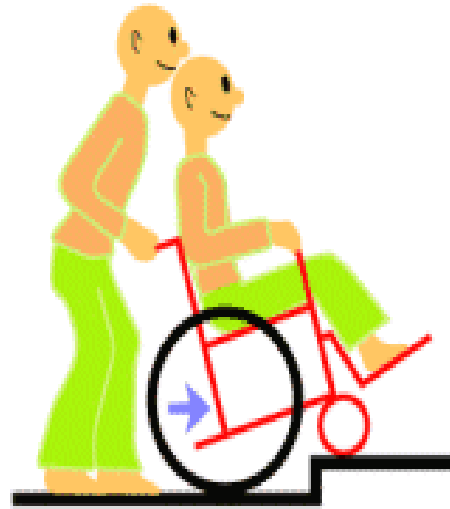
道路と歩道の境の
段差にはまる



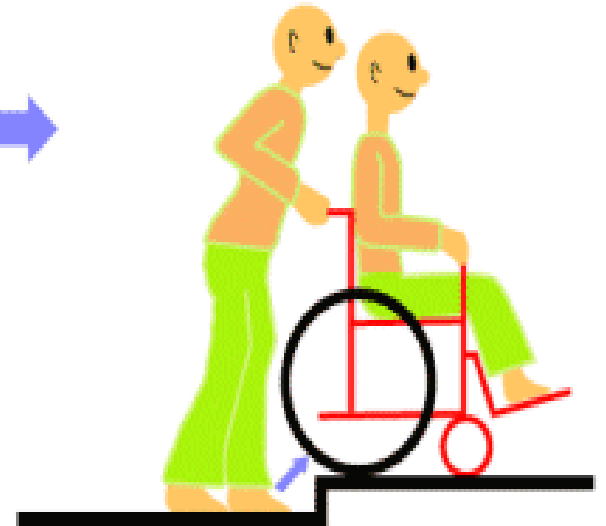
段差の上り方



①前輪を上げる

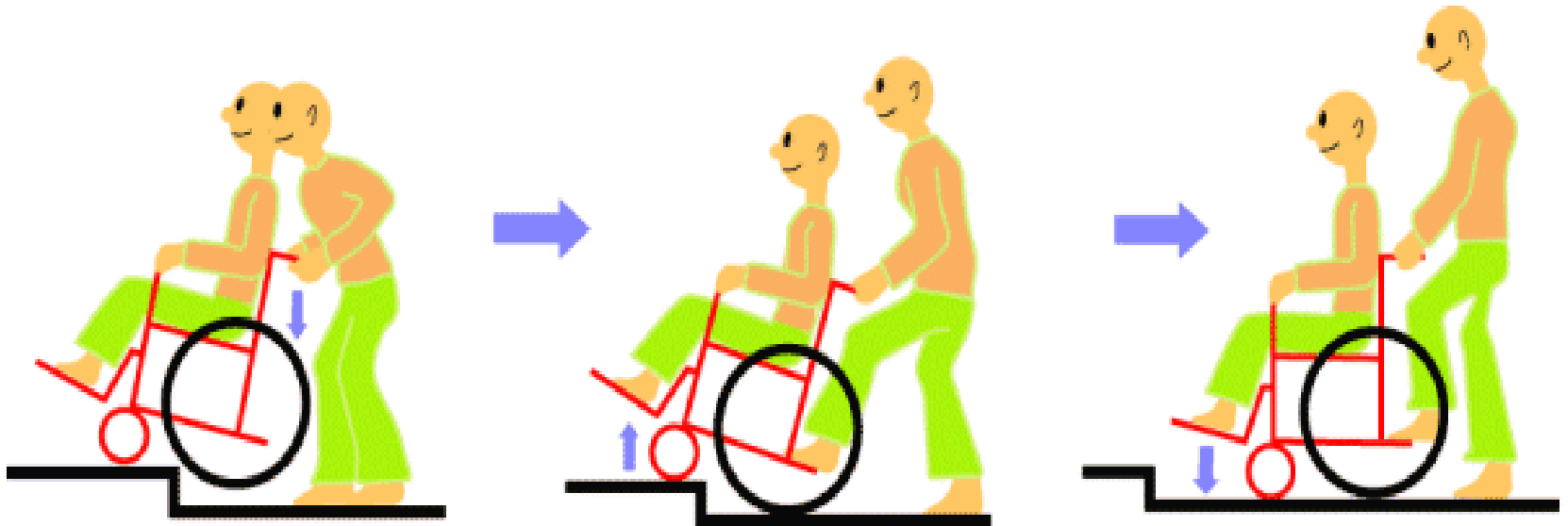


②前輪を段に乗せる



③後輪を押し上げる

段差の下り方



①後輪を下ろす

②前輪を上げ
後ろに引く

③前輪を下ろす

スロープについて

- 手すりの設置

- 片側

- 両側

- スロープの幅

- 120cm以上

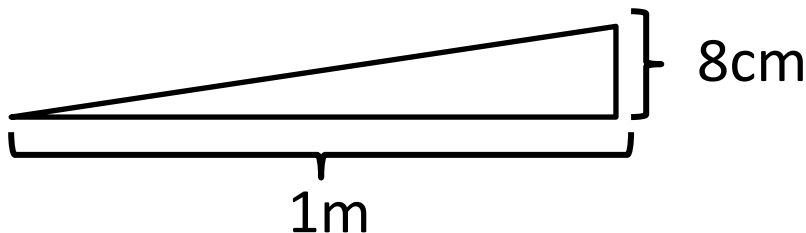
- 150cm以上

- スロープの勾配

- 1/12以下

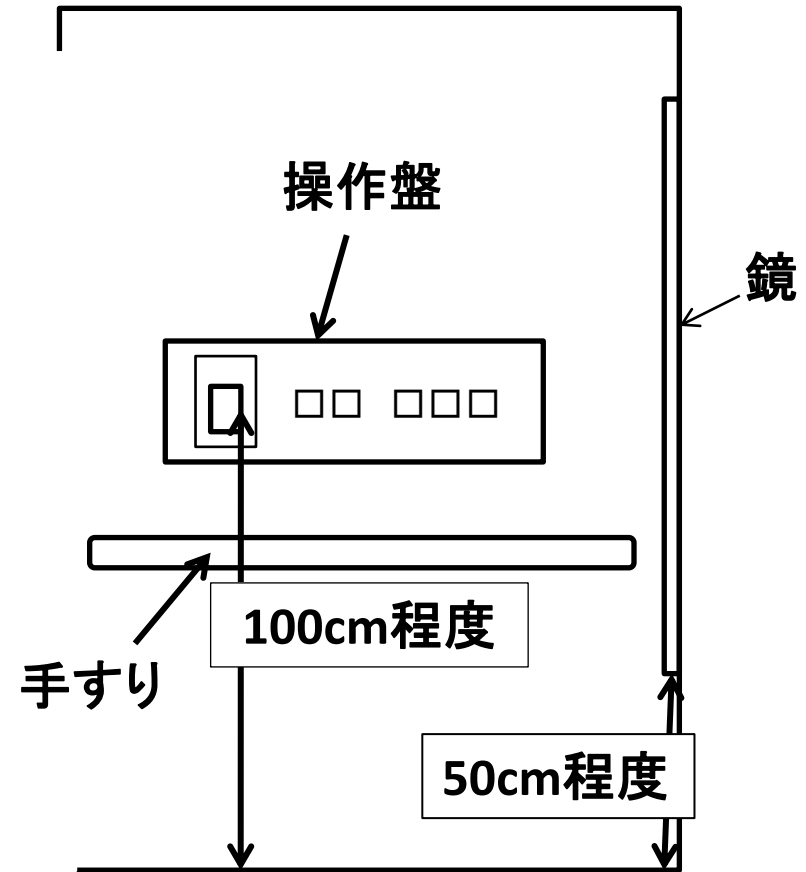
- 1/12以下

(屋外は1/15以下)



エレベーターについて

- エレベーター内の鏡の設置する高さは50cm程度であれば利用しやすくなっている
- 操作盤は100cm程度の高さであれば車椅子使用者でも利用しやすい



* 生活しやすい社会にするために *

- ◆ 社会での障がい者に対する認知を深める
- ◆ 一人一人の心遣いが大切
- ◆ 障がい者の方に配慮した街づくり